

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を含ませつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すくれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

トンボの住める環境

大切にしたい

トンボ観察調査結果まとまる

「トンボを見かけたらお知らせください」と呼びかけていた、「トンボ観察調査」の結果がまとまりました。

その結果、まだまだ自然が残されていることがわかりました。

市では、今後もこの調査結果をもとに、環境保全に努めていきます。



トンボ一ロメ

トンボはむかし、「アキツ」と呼ばれていました。そして、日本にはトンボがたくさんいたことから、「秋津(アキツ)島」と呼ばれていました。日本には現在、約190種類のトンボがいます。早ければ、4月頃から現れ、11月頃まで活発に活動します。

今年もトンボに来てほしい

下村 靖子さん



国際ソロブチミスト京都・西山の環境奉仕委員会でこの「トンボ観察調査」を知り、私も委員会活動の一つとして参加しました。

日頃、あまり気にかけていないトンボも気をつけて見ると、ずいぶん種類がいて、向日市もまだまだ自然が残っているのだなと思えました。

自然をもっと大切に

鶴谷 真紀さん



歴史が好きで、友だちといっしょに文化資料館に行く途中、たんにトンボを見かけました。ちっちゃいときはよく網をもって、トンボを追

っかけていたけど、最近トンボが少なくなってきたかと思っています。トンボは、悪い虫を食べてくれるので、ずっといてほしいし、自然をもっと大切にしたいです。

まだまだ自然残っています

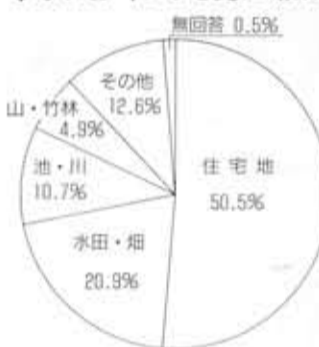
この「トンボ観察調査」は、生活環境課が昨年6月の環境月間行事の一つとして、6月15日から11月30日まで実施していました。トンボはきれいな水がなければ生きていけず、トンボの住める環境は人間にとっても望ましいといえます。トンボは環境の快適さを示す物差しの一つなのです。

まず、「トンボを見た」とありますが、回答者の38.7%が「よく見かける」と答え、「ときどき見かける」の44.1%を加えると8割以上になり、まだまだ自然が残っているという結果になっています。地域別に見ると、グラフ1のとおり、寺戸町が39.2%と最も多く、続いて鶴谷町、上植野町、冠冠井町、冠井町、上植野町となっています。トンボを見た場所については、グラフ2のとおり、住宅地が50.5%と最も多く、そのほか、「自宅の庭」と答えている人が数多く見られました。続いてトンボの住む水田・畑の20.9%、池・川10.7%、山・竹林4.9%、その他12.6%、無回答0.5%です。

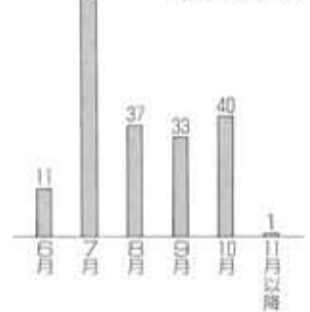
グラフI トンボを見た地域



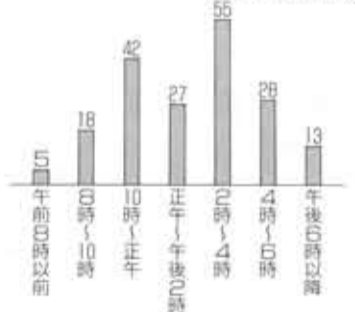
グラフII トンボを見た場所



グラフIII トンボを見た時期 (回答数 202)



グラフIV トンボを見た時間帯 (回答数 188)



青空市場開催

日時 6月23日(土) 午前10時~正午

場所 向日市農業協同組合 本所

(向日市向日町南山 ☎933-1161)

市内で生産された新鮮で安価な夏野菜などを販売します。多数のご来場お待ちしております。

主催 各地区農家組合・向日市・向日市農業協同組合

